

公益社団法人 日本臨床細胞学会
平成 25 年度(2013 年度)第 3 回理事会議事録

日 時：平成 25 年 11 月 1 日(金) 13 時 00 分～16 時 00 分

場 所：リーガロイヤルホテル 第 1 会場 桐 2F

役員総数： 39 名 (理事 39 名, 監事 3 名)

出席総数：理事 38 名

(理事長)佐々木寛 (理事)青木大輔, 池田徳彦, 石井保吉, 伊藤潔, 伊藤仁, 稲山嘉明
岩坂剛, 植田政嗣, 岡本愛光, 落合和彦, 加来恒壽, 覚道健一, 方山揚誠, 亀井敏昭
河原栄, 川本雅司, 紀川純三, 越川卓, 児玉省二, 是松元子, 齋藤豪, 寒河江悟
佐藤之俊, 生水真紀夫, 白石泰三, 鈴木光明, 関根浄治, 土屋眞一, 内藤善哉, 中村直哉
根本則道, 羽場礼次, 広岡保明, 森谷卓也, 八重樫伸生, 横山繁生, 若狹研一

(欠席者：委任状有)竹島信宏

(監事)長村義之, 柏村正道, 長谷川壽彦

(総務幹事)板持広明, 大澤政彦, 加藤久盛, 渋田秀美, 土居大祐, 服部学, 星利良

山下博

議長選出の議：本学会定款第 33 条に則り, 佐藤之俊総務委員長が議長となった。

議長 佐藤之俊総務委員長は定款第 34 条に則って, 理事総数の過半数(38 名)
の出席により定足数を満たしたので本法人の理事会が成立した旨を述べた。

議事録署名人選出：定款 35 条に則り, 議事録署名人は理事長並びに監事 3 名とすることが
確認された。

理事長挨拶：佐々木 寛

第 52 回平成 25 年(2013 年)秋期大会会長挨拶：若狹研一大会長

議事録(案)承認 (平成 25 年度第 2 回理事会)

1. 理事長報告：佐々木 寛

専門医制度について

厚生労働省の報告書に基づき, 専門医の評価, 認定などを行う中立的な第三者機関「専門医機構 (仮称)」が設立され, その機構の下で新たな専門医制度がスタートする。それに向けた組織委員会が設立され, 本学会は新しい機構の専門医の候補として推薦されること

が決定した。新しい専門医制度での本学会の位置づけは、基盤学会の上に乗るサブスペシヤリティ領域であり、既に基盤学会として産科婦人科学会や病理学会から正式文書を頂き、先の理事会で承認を得た。第三者機関が求めている専門医認定や更新についての制度設計と当学会のあり方との間に整合性をもたせながら細胞診専門医を認定・更新するシステムの構築を行う方向で検討を重ねている。第三者機関では専門医のあり方をわかりやすく国民に周知することを求めている。当学会が国民に示す細胞診専門医のあり方として“臨床修練を通して患者さんから信頼されるがんの予防および治療の標準的医療を提供できる医師である”としている。

2. 庶務報告 (佐藤之俊 総務委員会委員長)

全会員数：11,676名 (医師会員 4,549名 技師会員 7,097名 図書会員 30件)

細胞診専門医数：2,606名 (実数)

F I A C : 158名 M I A C : 73名

細胞検査士数：6,957名 (実数)

C T (I A C) : 4,818名

物故会員

(正会員)

細胞診専門医 五味 淳 先生 (神奈川県立こども医療センター)

(技師会員)

検査士会員 片岡 夕子 殿 (公立学校共済組合東海中央病院)

黙祷

3. 第55回平成26年(2014年)春期大会準備状況：(故中山裕樹理事代理：佐々木寛理事長)

会期：平成26年6月5日(木)・6日(金)・7日(土)

場所：神奈川 パシフィコ横浜

テーマ：「細胞が語りかけるもの」

4. 第53回平成26年(2014年)秋期大会準備状況：(亀井敏昭理事)

会期：平成26年11月8日(土)・9日(日)

場所：山口 海峡メッセ下関・下関生涯教育プラザ

5. 第56回平成27年(2015年)春期大会準備状況：(紀川純三理事)

会期：平成27年6月12日(金)、13日(土)、14日(日)

場所：松江市 くにびきメッセ (島根県立産業交流会館)

6. 第54回平成27年(2015年)秋期大会準備状況：(越川卓理事)

会期：平成27年11月21日(土)・22日(日)

場所：名古屋 名古屋国際会議場

7. 代表理事及び職務執行理事の職務執行状況報告

佐々木寛理事長：学会の運営 (理事長報告参照)

岩坂剛理事：学会の運営に協力。佐々木寛理事長が代表で報告

土屋眞一理事：学会の運営・細胞診ガイドライン作成の協力。

佐々木寛理事長・内藤善哉理事が総括し、代表で報告

若狭研一理事：細胞診専門医教育研修プログラム作成

青木大輔理事：学会の運営・婦人科臨床試験の進行・国際細胞学会運営の準備

佐藤之俊理事：総務委員会 報告事項参照

紀川純三理事：学術委員会 報告事項参照

池田徳彦理事：計理委員会 報告事項参照

竹島信宏理事：編集委員会 報告事項参照

植田政嗣理事：細胞診専門医委員会 報告事項参照

越川 卓理事：細胞検査士委員会 報告事項参照

齋藤 豪理事：教育委員会 報告事項参照

八重樫伸生理事：渉外・広報委員会 報告事項参照

内藤善哉理事：国際交流委員会 報告事項参照

川本雅司理事：制度審議委員会報告事項参照

8. 審議事項および議決結果

審議事項

1. 第 57 回(2016 年)春期大会会長選出について
2. 平成 27・28 年度評議員選出委員会委員長について
3. 頸部細胞診の自動化判定に関する研究班の責任者について
4. その他
 - 1) 細胞診 60 周年記念パーティについて

議事の経過の概要および議決結果

1. 第 57 回(2016 年)春期大会会長選出について
青木大輔理事が推薦され、全員一致で承認された。
2. 平成 27・28 年度評議員選出委員会委員長について
青木大輔副理事長が推薦され、全員一致で承認された。
3. 頸部細胞診の自動化判定に関する研究班の責任者について
研究責任者に森谷卓也理事が推薦され、全員一致で承認された。
4. その他
 - 1) 細胞診 60 周年記念パーティについて
開催の方向で承認された。

各種委員会での議事の経過概要および議決結果

総務委員会（委員長 佐藤之俊）

〔報告事項〕

1. 平成 25 年度第 2 回理事会で決議された会員資格停止者の会員資格停止処理を行った。
2. 来年度予算および今年度決算承認までのスケジュールについて確認し問題点を抽出した。

〔審議事項〕

1. 事務局の作業に関する問題点について
事務局員の事務作業が多すぎるため、各委員会から事務局への連絡や作業依頼は窓口を一本化していただくこと、できるだけ委員会内の委員や幹事で分担して資料作成などをしていただくことが要請され、承認された。
2. 細胞診専門医会および細胞検査士会の予算・決算に係る問題点について
公益社団法人の予算・決算に必要な手続きと専門医会および検査士会細則との齟齬を修正するために細則の改定が必要であることが確認された。細則改定には専門医会および検査士会総会の承認が必要であるため、改定は来春となることが重ねて確認された。
3. 理事会開催のスケジュールについて
現状では年に 2 回だが、公益化に伴い、予算・決算の審議等も含めて年度内にもう一回理事会を開催することが承認された。

情報処理委員会（委員長 石井保吉）

〔報告事項〕

特になし

〔審議事項〕

1. 学会員の個人情報開示に関する細則の一部変更が承認され、監事にも必要に応じた閲覧権限が付与された。

医療安全委員会（委員長 森谷卓也）

〔報告事項〕

1. MSC ホットラインの連絡先等を更新した。本年度の利用実績は 0 件である。
2. 第 52 回秋期大会において医療安全セミナーを実施した。

「医療訴訟とリスクマネジメント」

演者：渡邊 昇（中村・平井・田邊法律事務所 弁護士・医師）

〔審議事項〕

特になし

倫理委員会（委員長 中村直哉）

〔報告事項〕

1. 学術研究，学会発表における倫理について啓蒙活動を行うこととし，2014年の春の学会において教育的なレクチャーを企画した．今後も学会員に具体的な質問内容を公募し，レクチャー開催を検討したいとの報告があった．

〔審議事項〕

特になし

利益相反委員会（委員長 岡本愛光）

〔報告事項〕

1. 平成25年度のCOI自己申告書の送付，回収，COI状況の報告があった．

〔審議事項〕

特になし

学術委員会（委員長 紀川純三）

〔報告事項〕

1. 学会賞・技師賞・班研究課題について
平成25年9月20日（金）学術委員会会議が開催され，以下の推薦候補を選出した．
結果は施行細則に則り，理事長に報告された．

推薦候補者

学会賞（応募者1名）：宇田川 康博

技師賞・学術部門（応募者3名）：該当者無

技師賞・功労部門（応募者2名）：小川隆文

班研究課題（応募者4編）：丸田淳子

課題名：甲状腺髄様癌の細胞学的特徴の究明

以上の推薦候補者はすべて承認された．

〔審議事項〕

1. 技師賞に落選したものの，優秀と思われる応募者には次期選考の対象となる内規を理事会で承認した．

計理委員会（委員長 池田徳彦）

〔報告事項〕

特になし

〔審議事項〕

1. 会議における謝礼・経費の内規案の作成
職種による区別や金額などに関する意見が出され，これらを踏まえての改定を池田委員長に一任することが承認された．

編集委員会（委員長代理 佐藤之俊理事）

〔報告事項〕

1. 資料に沿って、日本臨床細胞学会雑誌 Vol.52(No.4 および 5)の編集・発行状況、Acta Cytologica への本邦からの投稿論文審査状況について報告された。
2. 従来のジャンルに当てはまらないカテゴリーの投稿が増えており、これらに対する投稿規定改定の検討を始めたとの報告があった。

〔審議事項〕

1. 日本臨床細胞学会雑誌電子ジャーナル化に関する検討
学会にとってメリットは大きいと思われるが、アーカイブをきちんと整備し、様々な会員の事情に対応できるように検討が必要と考えられ、電子ジャーナル化を推進する方向性および電子ジャーナル化に関するワーキンググループの設立が承認された。

細胞診専門医委員会（委員長 植田政嗣）

〔報告事項〕

1. 平成 25 年度細胞診専門医資格認定試験について
平成 25 年度細胞診専門医資格認定試験は 12 月 1 日(日)に AP 浜松町で行う。第 52 巻 2 号および 4 号イエローページならびにホームページで公告。申請期間は平成 25 年 8 月 1 日(木)～8 月 31 日(土)。9 月 22 日(日)に受験資格審査会を行い、受験予定者 147 名(総合科 119 名、歯科口腔科 28 名)を決定した。
2. 細胞診専門医資格認定試験の実施変更について
医師は全て総合科を受験する。筆記試験問題 25 問、細胞像試験(カラープリント)問題 25 問の 50 問(50 点)とガラス鏡検試験 20 問(50 点)の合計 100 点を出題する。歯科医師には、総合科と共通の筆記試験問題 25 問、細胞像試験(カラープリント)問題 25 問の 50 問(50 点)と歯科口腔領域に限ったガラス鏡検試験 12 問(50 点)の合計 100 点を出題する。筆記試験、印刷物による細胞診断試験は、原則として解答多肢択一とする。なお、歯科医に限り、当面学会入会歴は問わない。
3. 細胞診専門医資格更新について
細胞診専門医資格更新は資格取得後 4 年ごとに行われる。平成 25 年の資格対象者は、専門医番号 1-593, 900-1005, 1242-1308, 1510-1587, 1798-1876, 2275-2366, 2673-2765 で、第 52 巻 2 号イエローページならびにホームページで公告。細胞診専門医費(向後 4 年間)未納者の更新は認めない。

〔審議事項〕

日本専門医制評価・認定機構から厚労省主導の第 3 者評価機関への移行をふまえて、本学会の専門医制度、特に教育研修制度のさらなる整備が求められている。このため、執行部会議での提案事項が報告され、この報告事項をふまえた、

- 1) 教育研修施設認定に関する施行細則を修正し、教育研修指導医の要項を追加。

- 2) 教育研修指導医認定ならびに資格更新に関する施行細則を新たに作成。
- 3) 細胞診専門医資格更新実務に関する施行細則を修正し、秋期大会細胞診専門医セミナー（教育研修指導医講習会を兼ねる）出席 30 単位の項目を追加（なお、本年より細胞診専門医資格更新は、学会ホームページからダウンロードできるエクセルフォームに活動単位を入力し積算した申請書により判定する）。

補足：「専門医機構」の整備指針に則り、今後は本学会でも「修練医」は「専攻医」と表現する。

2) および 3) については既にみなし理事会で承認済みであるため、1) についての変更が承認された。

施設認定制度委員会（委員長 亀井敏昭）

〔報告事項〕

事業報告

1. 平成 25 年度教育研修施設申請について

11 施設を審査後認定した。

兵庫県立塚口病院，国立病院機構広島西医療センター，地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立中央病院，社会医療法人製鉄記念室蘭病院，PCL 盛岡 病理・細胞診センター，独立行政法人国立病院機構小倉医療センター，PCL JAPAN 病理・細胞診センター，京都桂病院，香川大学医学部附属病院，福井赤十字病院，独立行政法人国立病院機構東京医療センター

結果は日本臨床細胞学会雑誌第 53 巻第 1 号イエローページに会告として報告予定。

2. 平成 24 年度新規施設認定について

9 施設の申請があり，委員会内で審査実施の結果認定した。

富山県済生会富山病院，名古屋第一赤十字病院，藤沢市民病院，札幌東徳洲会病院，大阪府医師会保健医療センター，新潟医療生活協同組合木戸病院，兵庫県立尼崎病院，秋田組合総合病院，熊本赤十字病院

3. 平成 24 年度年報提出状況

395 施設が提出済（全施設 852 施設中，46.4%提出）

問題点：学会ホームページやイエローページなどでの情報伝達が十分でない。

4. 内部精度管理（実地調査）について

内部精度管理ワーキンググループ（笹川基 WG 長）のもとで，3 施設を対象として実施（平成 25 年 8 月～9 月）。若干の指摘ありだが，特に大きな問題点なし。その結果を日本臨床細胞学会雑誌第 53 巻第 1 号イエローページに施設認定制度委員会報告として掲載予定。

5. 外部精度管理（コントロールサーベイ）について

平成 23-24 年度の第 4 回コントロールサーベイについては対応済。

- 結果報告に関しては、平成 25 年 10 月に送付予定。平成 26 年度には、新たに実施予定。
- 平成 24 年度施設認定更新作業については、関係施設への連絡を含め、今後対応。
対象は 64 施設。
 - 平成 25 年度教育研修施設更新作業に関しては、関係施設への連絡予定（44 施設）。

〔事業計画〕

- 平成 25 年度新規施設認定については、以下の日程で進行予定。
申請書締切 平成 26 年 3 月 31 日
審査終了 平成 26 年 6 月、理事長への報告後、当該施設への報告
- 平成 26 年度教育研修施設認定については学会ホームページへの掲載後、
申請書類を平成 26 年 4 月末を目途に提出。審査後、理事会で承認後、
学会雑誌イエローページに掲載予定。
- 平成 25 年度年報提出は、通年通り、平成 26 年 3 月末に提出。
- 内部精度管理（実地調査）については平成 26 年 9 月を予定。
- 外部精度管理（コントロールサーベイ）については、平成 26 年度に実施予定。
外部精度管理 WG を軸に内容の検討と実施。

〔審議事項〕

- 教育研修施設の更新料の決定に関して
通常認定施設の更新料は 15,000 円、教育研修施設については申請料 20,000 円とし、
更新料は経費がほとんど発生しないため、徴収しないことが承認された。

細胞検査士委員会（委員長 越川卓）

〔報告事項〕

- 平成 25 年度 CT(IAC)資格認定試験
日程：平成 25 年 6 月 16 日(日)、会場：Learning Square 新橋、受験者：75 名（うち
1 名は台湾の受験生）。合格：75 名(100%)。
- 平成 25 年度（第 46 回）細胞検査士資格認定試験
総受験者：703 名（うち 116 名は 1 次試験免除）、1 次試験志願者：587 名（関東が 277
名、関西が 310 名）。
1 次試験（平成 25 年 10 月 13 日（日）東京富士大学、大阪 CIVI 北梅田研修センター）
受験者：585 名(当日欠席 2 名)。平均点：68.3 点、合格点：70 点
合格：301 名
2 次試験（平成 25 年 12 月 7 日（土）および 8 日（日）東京富士大学にて実施）
受験者：417 名（301+116 名）。
- 平成 25 年度細胞検査士試験問題作成委員会
3 回の委員会を開催し、筆記試験および細胞像試験の問題を作成した。
- 研修会単位申請の返信用封筒について

学会ホームページに掲載されている研修会の単位申請の手順に「切手を貼った返信用封筒が同封されていない場合、単位通知書を返送することが出来ませんので必ず同封して下さい。」という文言を追加した。

〔審議事項〕

1. 細胞検査士資格認定試験施行細則および細胞検査士資格更新実務に関する施行細則の一部改定が承認された。

細胞検査士資格更新審査委員会（委員長 広岡保明）

〔報告事項〕

1. 平成 25 年度細胞検査士資格更新対象者メンバー（グレーカード）
1～68, 195～272, 440～584, 913～1060, 1354～1557, 2259～2457, 3120～3457, 4210～4452, 5135～5349, 6051～6203, 6749～6943, 7686～7876
更新予定者：2177 名
* 震災にあった方は自己申告での更新も可能とし、出来る限り救済する。
2. 検査士カードの記載方法について
平成 24 年度の資格更新時に検査士カードの不備が多かったため、検査士カードの記載方法を作成し、HP やイエローページに掲載した。
3. 資格更新審査の行程の見直し
例年、資格更新審査に時間がかかりすぎていることより、平成 25 年度は、平成 26 年 1 月中に更新審査を完了する方針であることが報告された。
4. 申し合わせ事項の修正および追加
申し合わせ事項の一部修正および追加が承認された。

〔審議事項〕

特になし

教育委員会（委員長 齋藤豪）

〔報告事項〕

1. 平成 25 年度プログラムの経過状況の報告および平成 25 年度プログラムの実施予定が資料に沿って説明された。

〔審議事項〕

1. 細胞検査士養成のための夜間コースの件
検査士会から平成 9 年まで細胞学会主催で行われていた、夜間 6 週間の細胞検査士養成コースの再開についての要望および予算書が提出され、協議の結果、承認された。

渉外・広報委員会（委員長 八重樫伸生）

〔報告事項〕

1. 日本専門医制評価・認定機構，医療関連サービス振興会各々の会議に出席し，学会として求められた対応を行うとともに各組織からの情報の収集・共有に努めた。

〔審議事項〕

特になし

社会保険委員会（委員長 稲山嘉明）

〔報告事項〕

1. 平成 25 年 8 月 9 日，厚労省ヒアリングに佐々木理事長，稲山委員長が参加し，液化化検体細胞診および婦人科細胞診スクリーニングにおける自動化加算について，その必要性と重要性を説明してきたとの報告があった。

〔審議事項〕

特になし

地域連絡委員会（委員長 児玉省二）

〔報告事項〕

1. 地域連携組織との契約状況
2. 地域連携組織の活動調査と支援(更新)
平成 24 年度支部活動報告，連合会活動報告の集計
3. 定点観測(北海道，宮城，熊本)の評価(更新)
平成 24 年度細胞診検体に関するアンケートの集計
4. 全国地域組織代表者会議の開催（平成 25 年 11 月 2 日）

〔審議事項〕

1. 子宮頸がん検診推進活動支援(新規)
公益目的事業の一環として，現在全国で行われている「4 月 9 日子宮の日」の子宮頸がん検診推進活動支援について審議したが，公益法人として法的にきちんと裏付けのある形を検討する必要がある，地域連携組織に対する支援については継続審議となった。

国際交流委員会（委員長 内藤善哉）

〔報告事項〕

1. 2 国間交流，国際・アジアフォーラム，国際学会についての報告がなされた。

〔審議事項〕

特になし

制度審議委員会（委員長 川本雅司）

〔報告事項〕

1. 定款細則，施行細則，内規・申合集の改定

平成 25 年 6 月 2 日の理事会承認を得て，定款細則，施行細則の改定を実施したが，それに合わせて内規・申合集を含む目次の作成，『規約文章等作成基準』ならびに『用語法』に則った改定を実施した。改訂日は，理事会承認を得た 6 月 2 日付とした。

2. 麻生総合法律事務所，中田会計事務所との契約書類の確認。

〔審議事項〕

1. 各委員会からの施行細則改定案に対する対照表の提示（専門医委員会，細胞検査士委員会，情報処理委員会）。

2. 専門医委員会から提案された新規施行細則案の提示。

IAC 連絡委員会（委員長 長村義之）

〔報告事項〕

1. 第 18 回 IAC 国際学会（パリ）の開催報告があった。

第 19 回 IAC 国際細胞学会準備委員会（委員長 青木大輔）

〔報告事項〕

1. 会期：2016 年 5 月 29 日～6 月 3 日 /会場：パシフィコ横浜

2. 11 月末日までに，日本学術会議へ共同主催国際会議開催申請を実施する。

肺がん学会とのワーキンググループ（委員長 池田徳彦）

〔報告事項〕

特になし

〔審議事項〕

特になし

泌尿器細胞診の報告様式に関するワーキンググループ（委員長代理 白石泰三理事）

〔報告事項〕

1. 資料に沿って現在までの活動報告がなされた。

〔審議事項〕

特になし

細胞診専門医研修カリキュラム作成ワーキンググループ（委員長 若狭研一）

〔報告事項〕

1. 細胞診研修カリキュラムの説明を作成した。

2. 研修医マニュアル, 指導医マニュアルを作成した.

[審議事項]

特になし

細胞検査士スライド試験問題集作成ワーキンググループ (委員長 広岡保明)

[報告事項]

1. 順調に進行している. 現在, 著作権・委譲に関する告知を行っているとの報告があった.

[審議事項]

特になし

細胞診ガイドライン作成ワーキンググループ (委員長 内藤善哉)

[報告事項]

1. 2015 年の発刊に向けて順調に進行しており, 学術集会時に内容の周知を順次に予定している.

[審議事項]

特になし

口腔細胞診ワーキンググループ (委員長 関根浄治)

[報告事項]

1. 実施予定の各施設で倫理委員会での審査中である.

[審議事項]

特になし

婦人科臨床試験ワーキンググループ (委員長 青木大輔)

[報告事項]

1. 「子宮頸がん検査における従来法細胞診と液状化検体細胞診の性能比較研究」を開始した (がん研有明病院, 慶応義塾大学病院, 東京慈恵会医科大学付属柏病院(準備中)).
2. 「一般住民を対象とした子宮頸がん検診における液状化検体細胞診と HPV DNA 検査との併用法の有用性を評価する前向き無作為化比較研究」を開始した (山梨県, 千葉県, 柏市).

[審議事項]




特になし

閉会の挨拶：岩坂剛 副理事長

以上を以って本理事会の議題が終了し、平成 25 年度第 3 回理事会を終了した。

平成 年 月 日

この議事録が正確であることを証します。

理事長	<u>佐々木寛</u>	
監事	<u>柏村正道</u>	
監事	<u>長村茂之</u>	
監事	<u>長谷川壽彦</u>	